

# LIBRARY



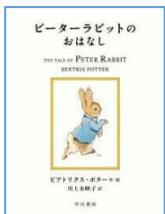
明日は待ちに待った運動会！ 去年は雨のために中止、その前年はかなり規模を縮小しての実施。74 回生にとっても、初めてに等しい世中の運動会なのですね。伝統が繋がる良さがありますね。

## 『慟哭は聴こえない』 丸山正樹著 東京創元社 2019



主人公は手話通訳士荒井尚人。手話通訳だけでは生計を立てるのは難しい。妻が、尚人しかできない仕事として認めてくれているので、通訳の仕事の傍、主夫業もこなす。結婚の報告に兄悟志一家との会食会が設けられた。兄一家は家族全員がろう者、亡くなった尚人と悟志の両親も耳が聞こえなかった。尚人だけが、聞こえない両親が生まれた聞こえる子＝コードだった。ある日、尚人はろう者の妊婦から医療通訳の依頼を受ける。ところが…。

## 『ピーターラビットのおはなし』 ポター作 早川書房 2022



川上未映子さんの新訳で、新たに早川書房から出版。もっか3冊出たところ。何が違うかといえば、まずこれまでは小さな子どもが読むことを考慮して、入れられていなかった挿絵も復活。さらに翻訳を担当した川上さんは、英文で韻を踏んでいる部分の日本語表記を新たに考えたり、これまでひらがな表記だったものを漢字にしてルビをふるなどの工夫も。ぜひ、気になった人は、いしいももこ訳の福音館版と比べてみては？ 英語版ももちろん入っていますよ。

## 『つまらない住宅地のすべての家』 津村記久子 双葉社



家に関する本を探していて、見つけたこの小説、面白かったです。ご近所づきあいもさしてないという住宅街に、降ってわいた脱獄犯のニュース。この近くに現れる確率が高いということで、当番制で見張りを立てることに。脱獄したのは、横領罪で20年も服役していた女性模範囚。読み進めていくと、“つまらない”住宅地に住んでいたはずの人たちが、それぞれの人生を生きている生身の人として浮き上がってくる。風が吹けば桶屋が儲かる…ではないが、私たちの日々の暮らしも、誰かのふとした行動が誰かに影響を及ぼし、結果的に平穏無事な生活が送れることもあればその逆もまた。ご近所づきあいは、過剰な悪意や善意がなければ、風通しが良くなるのかも。

## 『クララとおひさま』 カズオ・イシグロ著 早川書房



クララとは、AF と呼ばれる人工親友ロボット。ショールームで、買ってくださるお客様を待つ身。今は人気の商品は最新型B3型ロボットなので、旧式のクララはなかなか購入されず、外の世界を眺め、人間たちを観察する。やっとショーウィンドウに置いてもらったクララを見つけたのはジョジーという病弱な女の子。クララが諦めかけた頃に母親を連れてやってきた。最新型ではないが、クララの特徴は高い観察力と学習欲と知り、母親はジョジーの願いを聞いて購入を決め、第二章へと続く。この物語は病弱な女の子と優しいAIロボットとの心温まるストーリーでは全くない。第一章から、不穏な空気が絶えず流れているが、読み進めるうちに益々濃くなっていく。鬼才カズオ・イシグロの世界を堪能しては？

## 『JK、インドで常識ぶっ壊される』 熊谷はるか著 河出書房新社



中3になる直前の春休み、両親から海外赴任が決まりそう…と聞かされた“わたし”。正式に辞令が下りるまでは転勤の件は口外してはいけないと言われ、ひとり、アメリカか、ヨーロッパか、あるいは東南アジアか…と夢想していた。ところがGW直前に聞かされた

赴任先は想定外のインド！ なぜインドを考えなかったのかと言われて、何の理由もない。友人たちに引越先を伝えると、はげましと同情が付いてくる。そんな“わたし”が、実際にインドに行って何を考え、何を思ったかが、赤裸々に語られるノンフィクション。みんなが知らないであろうインドをJK目線で語ってくれる。

## 『教えて！タリバンのこと』 内藤正典著 ミシマ社 2022



2021年8月アフガニスタンの政権が崩壊した。アメリカとその同盟国の軍隊は撤退し、身の危険を感じたガニ大統領は国外逃亡。そして今アフガニスタンはタリバンが政権を掌握。タリバンを信頼できない人たちは国外への脱出を試みた。女性の人権を認めないタリバンに対し、非難の声を上げる人たちは少数ではない。だとしても、著者は言う。タリバンは悪魔のような存在なのかと。そうであるなら、悪魔から逃れてきた人たちに門戸を閉ざすのはなぜかと。緊急講座と題したこの本は、現代イスラム地域研究者である著者が、オンラインイベントで語ったものをまとめた1冊。

## 『おうち避難のためのマンガ防災図鑑』 草野かおる著 飛鳥新社



地震・台風・集中豪雨などで自治体は避難を呼びかける。ところが、避難所にいったら満員で入れなかったというニュースを耳にする。本当に住民が全員避難したら、避難所は立ち行かなくなるのは目に見えている。おまけにコロナ禍のなかでは、家にとどまることを選択する人も増えるだろう。この本は、そのための指南書だ。家族で一度は真剣に考えておいたほうがいい。日頃から防災を考えるのは、地震国ニッポンに住む私たちには必要なことだが、ミサイル攻撃や、核戦争に備える日が来ることだけは避けたい…。

## 『ドリーム』 マーゴット・リー・ジェタリー著 山北めぐみ訳



数学教師ドロシーは、黒人女性計算手としてNASAの前身組織に採用される。その優秀さが認められ、白人の男たちに混じって、複雑な計算に立ち向かう。ところが、この時期アメリカは人種隔離政策続行中。最先端の科学が集結する場にもかかわらず、ドロシーは一人、遠く離れた有色人専用トイレに行かねばならないとは…。優秀な黒人女性たちが、壁を壊し、己の道を突き進んでいった真実の記録！

## 『夕暮れに夜明けの歌を』 奈倉有里著 イーストプレス 2021



『同志少女よ！ 敵を撃て』の著者 逢坂冬馬氏の実姉が奈倉有里さんということにびっくり！ ロシア文学の翻訳者である著者が、初めて書いたノンフィクション。副題に文学を探しにロシアに行く とありますが、まさにロシア文学に魅せられた若き著者が、2002年から学んだモスクワの文学大学での日々を綴ったものです。今だからこそ、ロシア文学の魅力を知りたい人にお薦めです。

5月に入った本の一部です。リクエストは常時受け付けています。

No.	請求	書名 I	著者名 I	出版者	出版年
038278	0190	読書からはじまる	長田弘	筑摩書房	2021/05
038319	031S1	総合百科事典ポプラディア 全 18 巻		ポプラ社	2021/11
038199	049F	大人も知らない?ふしぎ現象事典	「ふしぎ現象」研究会	マイクロマガジン	2021/07
038297	2100	一冊でわかる室町時代	大石学 監修	河出書房新社	2022/04
038296	210Y	鎌倉幕府と室町幕府	山田徹,他	光文社	2022/03
038300	210Y	地図でスツと頭に入る鎌倉・室町時代	山田邦明 監修	昭文社	2022/02
038269	292K	JK、インドで常識ぶ壊される	熊谷はるか	河出書房新社	2021/12
038295	297S	イースター島不可思議大全	芝崎みゆき 著	草思社	2022/03
038213	302N	夕暮れに夜明けの歌を	奈倉有里	イースト・プレス	2021/10
038198	316M	ナビラとマララ	宮田律	講談社	2017/03
038286	316W	みんなで平等をつくる	シャノン・ウェバー	亜紀書房	2022/02
038271	360H	「日本」ってどんな国?	本田由紀 著	筑摩書房	2021/10
038281	361K	集まる場所が必要だ	クリネンバーグ	英治出版	2021/12
038282	361M	多文化共生	松尾慎 編著	凡人社	2018/11
038266	365N	シックハウス事典	日本建築学会 編	技報堂出版	2001/09
038273	367H	子ども介護者	濱島淑恵	KADOKAWA	2021/09
038290	368K	なぜ「あの場所」は犯罪を引き寄せるのか	小宮信夫 著	青春出版社	2015/06
038255	369K	おうち避難のためのマンガ防災図鑑	草野かおる	飛鳥新社	2021/09
038259	369K	4コマですぐわかる新みんなの防災ハンドブック	草野かおる	ディスカヴァー・21	2019/02
038293	369N	避難所に行かない防災の教科書	西野弘章 著	扶桑社	2020/08
038292	369N	全災害対応!子連れ防災 BOOK	ママプラグ 著	祥伝社	2019/03
038260	369O	身近な危険	オオタヤスシ	旺文社	2016/07
038268	369S	キャンプ×防災のプロが教える新時代の防災術	寒川一 監修	学研プラス	2021/03
038309	410I	読むだけで楽しい数学のはなし	池田洋介	新紀元社	2017/03
038303	410K	食える数学	神永正博	KADOKAWA	2015/01
038304	410S	ドリーム	リー・シタリー 著	ハーバーコリンズ	2017/08
038285	489K	ツシマヤマネコ飼育員物語	キムファン	くもん出版	2017/10
038279	493O	睡眠障害の子どもたち	大川匡子 編著	合同出版	2015/08
038270	493Y	ゲーム・ネットの世界から離れられない子どもたち	吉川徹 著	合同出版	2021/02
038315	517S	もし、水がなくなるとどうなるの?	シュタインライン 文	西村書店	2022/03
038287	519H	みんなで地球をまもる	ベン・ホアー 文	亜紀書房	2022/02
038277	519T	こども気候変動アクション 30	高橋真樹	かもがわ出版	2022/01
038294	527S	トコトンやさしいエコハウスの本	鈴木八十二 監修	日刊工業新聞	2013/08
038313	538K	超速でわかる!宇宙ビジネス =	片山俊大 著	すばる舎	2021/11
038302	913A1	続・この素晴らしい世界に爆焔を!	暁なつめ	KADOKAWA	2017/01
038280	914T	これは、アレだな	高橋源一郎	毎日新聞出版	2022/02

今月の新刊は、授業関連の本が多かったですね。6月は、読物もたくさん入れます。ぜひリクエストしてください! (リクエスト box も設置しました。)

### 【図書委員会より】

2,3年生に向けて、5月は督促活動を行っています。2022年3月31日以前に返却すべき資料をまだ返していない人が対象です。人数はだいぶ減ってきたのですが、まだつわもの(?)が残っています。ちなみに、返してくれない人にご意見を伺いました。①なぜ返せないのか? 回答者の主な回答は、単に忘れていた。図書館に行かないので。借りた記憶がない。探したが見つからない。等です。②図書委員会ですることは?という問いには、教室に返却ボックスがほしい。こまめに督促をする。個人の問題なので特にない。等でした。借りた時期が過去になるほど、記憶も曖昧になるので、今年は月1督促週刊を設けたいと思います。延滞しないには、借りないのがイチバン...と思わないで、むしろ返して借りる習慣をぜひ!

こんなことやってます!



75回生 家庭科「よりよい住まい方を考える」



中学生は「住まい」について、どんなことを考えているのかなあ...と思いつつ、家庭科の関野先生と相談して、住まいに関する約180冊の本を図書館に集めてみました。集めた本を、内容から、①住まい全般②安心安全③防災防犯④家族⑤地域⑥日本⑦世界⑧環境⑨その他に分けていろいろ手にとってもらいました。一人1冊気になる本を選んで紹介しあったのですが、一番人気(?)だった2冊が、『最高に美しい住宅をつくる方法』と『ほしいのは「つかれない家族」』。見た目の美しさにも憧れるが、そのなかで過ごす家族のありようも気になる...頷けますね。まだまだ授業は続きます。

ポプラディア第三版入荷!



学校ではあえて、紙の百科事典も置いてあります。この児童・生徒向けのポプラディアは、分かりやすい言葉で説明され、漢字にはルビがふってあります。項目の最後には、該当するNDCの番号がふってあり、その分類の棚をみて、さらに詳しい本や関連する本が見つかることもできます。

ただ、紙の本の欠点は、間違いが見つかった時に、ネットの記事のようにただちに修正ができないこと。修正シールを貼って対応予定です。